

施策評価シート

施策等名称	環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築	体系番号	0301010203
		主管課	美サイクルセンター

1 施策基本情報

現状と課題	茅野市の一人一日当たりごみ排出量は、全国平均や長野県平均より多い状況にあり、家庭系ごみ、事業系ごみ共に一層の発生抑制・排出抑制・資源化等を進める必要がある。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	本地域は、白樺湖や蓼科湖、蓼科高原などに代表される八ヶ岳山麓特有の景観を形成しており、本地域の象徴的な自然環境特性を有していることから、本計画では循環型社会の形成により本地域の自然環境との調和を目指す。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	最終処分率	最終処分場茅野市分理立量/家庭・事業系総処理量×100 (%)	5.50	8.0以下 ごみ処理基本計画改定時に設定
②				
③				

施策の柱 1	名称	ごみ処理の一元化	主管課	美サイクルセンター			
	詳細	3市町村及び一部事務組合が主体の5つのごみ処理体制を一元化し、環境保全に配慮した効率的なごみ処理体系を構築する。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	最終処分率	最終処分場茅野市分理立量/家庭・事業系総処理量×100 (%)	5.50	8.0以下 ごみ処理基本計画改定時に設定	1 可燃ごみ焼却事業	実施
	2				2		
	3				3 4 5 6		

基本政策間連携

施策の体系	名称		主管課			
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3 4 5 6	

基本政策間連携

施策の柱 3	名称		主管課			
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3 4 5 6	

基本政策間連携

施策等名称	環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築	体系番号	0301010203
		主管課	美サイクルセンター

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	最終処分率	5.50	5.72	5.29	5.44	5.70	
		8.00以下	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	
変動要因等	2018年度	目標値は達成している。					
	2019年度	目標値は達成している。					
	2020年度	目標値は達成している。					
	2021年度	目標値は達成している。					
	2022年度						
柱1	最終処分率	5.50	5.72	5.29	5.44	5.70	
1		8.00以下	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	
変動要因等	2018年度	目標値は達成している。					
	2019年度	目標値は達成している。					
	2020年度	目標値は達成している。					
	2021年度	目標値は達成している。					
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築	体系番号	0301010203	
		主管課	美サイクルセンター	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		
投資額	事業費(円)	223,354,697		272,106,480	1.22	408,400,429	1.50	316,891,119	0.78	326,513,000	1.03	
	うち一財(円)	223,206,697		271,208,490	1.22	407,454,739	1.50	315,945,890	0.78	325,581,500	1.03	
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)			諏訪南リサイクルセンターの建設により、負担金が増えたため		諏訪南リサイクルセンターの建設により、負担金が増えたため		諏訪南リサイクルセンターの建設にかかる負担金が増えたため				
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	焼却施設の定期的な点検を実施し、計画どおりの修繕工事の施工により、安定したごみ焼却が行われた。		焼却施設の定期的な点検を実施し、計画どおりの修繕工事の施工により、安定したごみ焼却が行われた。		焼却施設の定期的な点検を実施し、計画どおりの修繕工事の施工により、安定したごみ焼却が行われた。		焼却施設の定期的な点検を実施し、必要な修繕工事を施工した。				
	課題	施設が稼働してから20年以上経過し、定期的な修繕では安定した熱効減量率の維持が難しい状況となっている。また、施設への負荷軽減のため、ごみの減量化による排出抑制に取り組む必要がある。		施設が稼働してから20年以上経過し、定期的な修繕では安定した熱効減量率の維持が難しい状況となっている。また、施設への負荷軽減のため、ごみの減量化による排出抑制に取り組む必要がある。		施設が稼働してから20年以上経過し、定期的な修繕では安定した熱効減量率の維持が難しい状況となっている。また、施設への負荷軽減のため、ごみの減量化による排出抑制に取り組む必要がある。		施設が稼働してから20年以上経過し、定期的な修繕では安定した熱効減量率の維持が難しい状況となっている。修繕工事については、社会情勢により必要部材がない等の理由により十分に行えなかった。				
改革・改善	改革・改善内容	2019年度に実施予定の施設の精密機能診断により、安定した焼却処理を行っていくための改修工事計画を2020年度に策定する。		清掃センターの精密機能診断により、安定した焼却処理を行っていくための改修工事計画を2020年度に策定する。		清掃センターの精密機能診断により、安定した焼却処理を行っていくための改修工事計画を2021年度に策定する。		清掃センターの精密機能診断により、安定した焼却処理を行っていくための改修工事計画を2023年度に策定する。				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1			
		重点事務事業	1		1		1		1			
	理由	一部事務組合への負担金支出により、広域による効率的なごみ処理運営を行っていく。		一部事務組合への負担金支出により、広域による効率的なごみ処理運営を行っていく。		一部事務組合による効率的なごみ処理運営を行っていく。		一部事務組合による効率的なごみ処理運営を行っていく。				

作成担当者	守屋正弘	武居直樹	三井 潤	三井 潤	
最終評価責任者	堀内俊彦	岩島善俊	岩島善俊	小平 雅文	
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月17日	2021年5月28日		